

# 会 議 録

会議の名称		令和4年度第3回守谷市地域包括支援センター運営協議会		
開催日時		令和4年10月31日（月） 開会：午後1時30分　閉会：午後2時45分		
開催場所		守谷市役所　全員協議会室		
事務局（担当課）		健幸福祉部　健幸長寿課		
出席者	委　員	城賀本会長、星野会長代理、高橋委員、坂本委員、柏崎委員、 岩佐委員、宮原委員、吉沼委員、堀込委員、本台委員、齋藤委員 計 11名		
	その他	守谷市北部地域包括支援センター　吉澤管理者、吉田主任介護 支援専門員　計 2名 守谷市南部地域包括支援センター　石塚管理者、木村保健師、 加藤社会福祉士　計 3名		
	事務局	小林健幸福祉部次長兼健幸長寿課長、市村健幸長寿課課長補佐、 宮下係長、山崎係長 計 4名		
公開・非公開 の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合 はその理由				
会 議 次 第		1　開会 2　あいさつ 3　報告事項 （1）令和3年度地域包括支援センター決算報告について （2）熱中症予防訪問報告について （3）総合相談業務の状況について 4　その他 （1）第2期地域包括支援センターの業務委託について 5　閉会		

確 定 年 月 日	会 議 録 署 名
令和　4年　12月　2日	城賀本　満登

## 審 議 経 過

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 報告事項

#### (1) 令和3年度地域包括支援センター決算報告について

令和3年度地域包括支援センター決算報告について事務局と地域包括支援センターから説明した。

#### 【主な意見等】

委 員： 両方とも同じような形式ですが、決算報告書というのはもう少し詳しいと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局： 決算報告書については、市の委託料と指定介護予防支援等のケアプラン作成の手数料収入で運営を行っていただいております。市からの歳入に余剰が出た際は返納、不足の場合は精算を行わないとしているため、詳細について記載を行っておりません。実際のところがもう少し分かるよう、今後どういった形がいいのか次回は検討させていただきたいと思います。

#### (2) 熱中症予防訪問報告について

熱中症予防訪問について事務局から説明と両包括から訪問を通じて感じた地域の特徴と課題について報告した。

#### 【主な意見等】

委 員： 両包括の方に伺います。フォローが必要な方は熱中症の危険性を訴えても口渇感の訴えがそもそもなかったり、体温の上昇についても自覚がない人がほとんどだと思いますが、何か工夫した点や注意した点があれば教えてください。

南 部： 熱中症予防のリーフレットを見てもらいながら話をしたり、その当時、熱中症で搬送された方のニュースなどを交えて他人事ではないということをお伝えしました。

北 部： リーフレットを活用しながら熱中症予防の話をして、私がお伝えしていることをご本人がどれくらいご理解されているか確認しながら、その方の理解度に応じた説明を行いました。

委 員： 当方に通っている方で注意喚起を行っていても熱中症を予防できなかった方がおまして。注意喚起については大げさにした方がよかったのではという反省点があり伺いました。来年度の参考にしたいと思います。ありがとうございました。

### （３）総合相談業務の状況について

総合相談業務の状況について概要を事務局から、両包括から相談件数の多い権利擁護や高齢者福祉についての説明を行った。

#### 【主な意見等】

委員： 南部地域包括支援センターの今年度の虐待の件数がとても増えておりますが、虐待の内容と解決するまでにどれくらいの時間を要しているか、どんなふうにかかわっているか伺いたい。

南部： アザやケガのある高齢者が病院に運ばれたことにより連絡があり、関わらせていただいている事例です。諸事情があり、帰れる場所がご自宅しかない方なので周りの人を巻き込みながら時間はかかると思いますが、いい状況に持っていけるように動いております。

会長： 総合相談業務の特徴的なところは、南部地区で虐待の件数がかなり増えているところと要因はどういったところが考えられるかといったところと、南部と北部で延べ件数はほぼ同じなのに実件数が南部の方がほぼ倍の件数だということだと思います。これはどういうことか少しお聞かせ願いたい。

事務局： 高齢者の数は現在南部が 10,170 人。北部が 6,434 人ということで、職員の数を増やしたりといった相談体制の強化というところは第２期で考えていきたいと考えております。虐待の相談件数の増加についてはやはり認知度が高まってきたのが大きいのではないかと思います。相談される方が増えたことにより虐待の状況が把握できて事件に発展するのを未然に防ぐことができていると思います。

会長： では、この相談件数が増えてきたのは地域包括支援センターの認知度が高まってきたために件数が増えたと考えていらっしゃるのですね。

事務局： はい。そのように考えております。

会長： では、実件数と延べ件数が２つの地域でかなり違うというのはどういうことなのでしょう。

北部： 推測ではありますが、北部地域包括支援センターは人員の異動があり職員が変わって引継ぎをしながら、教わりながら作業をしているため増えているのではないかと思います。例えば、１つの訪問先に南部地域包括支援センターであれば効率的に１～２回で済んでいるところを、北部は倍の回数かかっているのではないかと思います。仕事が安定してくれば、この数は減っていくと思います。

事務局： 総合相談の中で両包括から説明のあった権利擁護や高齢者福祉に関する相談について説明がありましたが、これに当てはまらないその他に該当する案件にはどんなものがありますか。

南部： お話をずっと傾聴させていただいても話の内容が定まらず、「今の話は何だったのだろうか？」というといった案件が増えております。誰かに

話を聞いてもらいたくて電話をくださって、話をすっきりして電話を切らせていただくという方も多いですし不審な人がいるので見に行ってもほしいといった内容の案件もよく聞かれます。

これもやはり地域包括支援センターの知名度が上がって地域の皆様に浸透してきた結果だと思います。

北 部： どこにかけていいかわからなくて電話をかけてきたというのもありますし、内容がよくわからないまま電話が終わってしまった方のご家族から後で連絡をもらい話がつながるといったこともあります。話を聞いているうちにだんだん話が整ってきて方向性が見えてくるといったこともあります。

委 員： 南部と北部に分かれていると思うのですが、これは住所で分かれているのですか。うちの住所は立沢ですが、行政区は守谷なんです。どこで区切っているのか伺いたい。

事務局： 行政区でなく住所で分けているので、立沢地区はすべて大井沢地区に入ります。

委 員： 熱中症予防訪問のところで、救急キットの配布数が出ていますが、救急キットの内容や誰に配っているのか伺いたい。実際のフォローの件数や民生委員の方との連携の件数と合わないと思うのですが。

南 部： 救急キットは現在お持ちではなくて配布を希望される方のお宅にお配りをしております。丸形の筒状の物でその中に紙の情報でご本人の状況、ご住所やかかりつけの医療機関、ご家族の連絡先や定期的にお薬を服用している人はお薬の表なども一緒に入れておくようご案内しております。そのため、民生委員の方との連携の件数などとは一致しておりません。

#### 4 その他

##### (1) 第2期地域包括支援センターの業務委託について

第2期地域包括支援センターの業務委託について事務局から説明を行った。

##### 【主な意見等】

委 員： 業務委託について意向調査の結果、現在委託している2法人以外希望がなかったとありますが、もしもう一つの機関が希望した場合は競争入札になるのですか。それともどんな形で選考するのでしょうか。

事務局： 希望される事業所が出てきた場合には、プロポーザル方式で法人の選考を行います。

委 員： 高齢者の数が今16,500人くらいですか。この規模の場合ですね、保健師さんや福祉士さんなど包括の職員の適正人数というのは何か決まりがあるのですか。

事務局： 国の基準が定められており、基本的にはおおむね3,000人から6,000人の高齢者に対して包括支援センターを置くことができるとされており、保

健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの3種を置くことが義務付けられております。

委 員： では、もしほかに応募したいという事業所があった場合、高齢者の規模を勘案して3か所とか4か所設置というのは可能になってくるのですか。

事務局： 国の基準で中学校の学区程度ということも記載されております。守谷市の中学校は現在4つございますので、将来的に一つの目安になると思いますが、今回の委託時にはそういう選択肢も視野に入れていく必要があると思っています。

会 長： 意向調査というのはどのくらいの事業所に実施したのですか。市内の事業所のみですか。

事務局： 国の方から地域包括支援センターの運営について通知が出ているのですが、運営が認められているのは社会福祉法人、医療法人、一部のNPO法人などで、守谷市で介護保険の対象となる事業所を運営されているのは社会福祉法人と医療法人になります。そちらの事業所に意向をお聞きしたところです。

次回の会議日程について

令和5年1月27日（金）午後1時30分から開催予定。

5 閉会